

大内山ふれあい牧場に到着して最初に手作りバターを作りました。プラスチックのびんの中に生乳を入れて、これでもかというほどふりました。バターから出た汁みみたいなものを飲んでみたら、とてもおいしかったです。牛からちょっと命をもらったんだなあと思いました。

次に乳しぼりをしました。上から下にしぼったら、簡単に乳が出てきました。これもちょっと命をもらっているんだなあと思いました。(感想より)



大規模経営の松阪牛飼育農家（明和町・吉田牧場さん）を訪ねました。エサやり体験もさせていただきましたが、いつまでもエサをやって牛から離れようとしないうちでこの牛がやがて肉になるのか・・・と考えさせられたようです。

牧場に到着して、牛にえさをやったり、なぜたりして、牛がよく食べてくれて、すごくうれしかったです。森本さんが、牛はなぐさめてくれたり、いやしてくれと言っていたけど、その気持ちが、よく分かりました。それにいっぱい食べる牛や、ぜんぜん食べない牛がいて、ほくは本当に牛にも性格があるんだと、あらためて分かりました。(感想より)

### (3) 松阪食肉衛生検査所・松阪食肉公社で「命」を感じて

肥育農家が育てた松阪牛を送り出す衛生検査所・食肉公社へ見学に行きました。「ここでは、愛情を持って育てられた牛の命をいただいて、またその命を新しく生まれ変わらせる仕事をしています。」という中井さんのお話を聞かせていただいたあと、解体作業を真剣に見つめていた子どもたちでした。働く方達の技術・素早さ・正確さに圧倒され、また、「こうやって牛の命をいただいているんだ」ということが実感できた見学となりました。



今まで何も思わず肉を食べていたけど、この見学に行き、松阪牛の勉強をして、牛を飼って育ててくれている人や、牛を解体して肉にしてくれている人がいることを知って、その人達のおかげで私達がおいしく肉が食べれるんだと分かって、これからたくさんの人や動物に感謝して食べるようにしようと思いました。私達が生きていけるのは、牛の命をもらっているからだと思いました。(感想より)

私が一番心に残ったことは「生きる」ということです。生きてる牛に命をもらっているということ。自分の心臓の音を聞いたときに、私の心臓も牛の心臓も同じように動いているんだなあと思いました。

私が今、生きてるということは他の命をもらって生きてるということ。だから命をもらっている私達は幸せです。解体されている牛や、それをしてる人を見て「ありがとう」と言いました。これからは、生き物の命をムダにしないように残さず食べたいです。

(感想より)

### (4) 「松阪肉入り味ご飯」を給食に

牛の命をむだなく食べてもらえるような献立を考えようと、栄養教諭の吉田先生にも加わっていただいでみんなで献立を考えました。松阪肉の味を生かすように、食べ残しがないようにと考え、「松阪肉入り味ご飯」に決めました。彩り良くなるように栗や人参も入れてもらいました。子どもたちの学びを生かしてくださった給食センター調理員さん達のおかげで、この献立を実現することができました。

松阪肉を食べてみたら、口の中でとけるようになっていった。肉のうまみが出たのか、すごく味ごはんがおいしかった。かき玉汁も、三雲の卵が入っていてすごくおいしかった。野菜サラダには、ほくがリクエストしたホウレンソウが入っていておいしかった。

給食センターの人は、朝早くから来てほく達の給食を作ってくれて、すごく感謝しています。ほくは森本さんがいて、食肉公社の人がいて、肉屋がいて、そして給食センターの人がいて、やっと食べれることをあらためて思った。(感想より)



### 4 学習をふり返って

天白小学校では、平成17～18年度にかけて、食教育に取り組んできました。これまでの学年で、野菜作り・米作りに取り組み、また大きなマグロの解体作業を見てマグロが給食に届けられるまでの学習にも取り組んだ子どもたちです。そして6年生になり、「松阪牛」を学ぶことができました。

この学習で、子どもたちは「食べること」がどんなことなのか真剣に考えることができました。「私達人間は、他の動植物の命をいただいて生きている」「様々な人々のつながりのうえに、食べるという行為がある」・・・そうとらえることができたのです。

食べることで、例えば肉だったらタンパク質という栄養となり、血や肉をつくり、「体の健康」となっていくことはもちろんですが、それだけではありません。食材の向こうに人々の労働や、様々な人々のつながり・動植物の命・自然環境がみえてきます。それが子どもたちの豊かな心を育むことになっていくと感じます。そして「命」を考えることができたのです。

このような学習ができたのは、松阪牛肥育農家の森本武治様、明和町吉田牧場様、大内山ふれあい牧場様、大川学園岡田先生、三雲地域学校給食センター栄養教諭吉田先生と調理員の皆様、松阪食肉衛生検査所・松阪食肉公社の皆様、三重県畜産協会様のおかげと、深く感謝いたします。

平成18年度天白小学校6年担任：中川雅文・加藤美紀・草分京子